

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37290002
授業科目名(Course name)	声楽（3）		
担当者(Instructors)			
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音 2 声	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 水曜 4 限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
さまざまな作曲家や音楽様式の作品を演奏するためには、正しい発声の会得や発音、そして詩の解釈は必要不可欠である。この授業では個人レッスンでベルカント唱法を理解していき、歌唱時の姿勢や呼吸、息の運び方など、基礎的なことを基に、自分の体と心に向きあいながら、無理のない自然な声と、更に、それを伴う且つ楽曲に適した音楽表現を探究していく。

■到達目標(Course goals)
イタリア近代作品を基に、ベルカント唱法の研究と基礎能力を修得している。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解 音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。○
2. 汎用的技能 音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。○

■授業計画(Lesson plan)
1. トスティ歌曲研究1『Ancora!』 イタリア語の持つ情緒やイントネーションの研究1 楽曲研究
2. トスティ歌曲研究2『Ancora!』 イタリア語の持つ情緒やイントネーションの研究2 実践
3. トスティ歌曲研究3『Sogno』 外へ向かったの音楽表現研究1 楽曲研究
4. トスティ歌曲研究4『Sogno』 外へ向かったの音楽表現研究2 実践
5. トスティ歌曲研究5『Tristezza』 速度記号の変化と音楽表現研究1 楽曲研究
6. トスティ歌曲研究6『Tristezza』 速度記号の変化と音楽表現研究2 実践
7. ベッリーニ歌曲研究1『Malinconia』 ベッリーニの旋律の美しさと表現研究1 楽曲研究
8. ベッリーニ歌曲研究2『Malinconia』 ベッリーニの旋律の美しさと表現研究2 実践
9. ベッリーニ歌曲研究3『Vaga lune, che inargenti』 アーティキュレーションとフレージング研究1 楽曲研究
10. ベッリーニ歌曲研究4『Vaga lune, che inargenti』 アーティキュレーションとフレージング研究2 実践

11. ベッリーニ歌曲研究5 『Ma rendi pur contento』 フェルマータの表現研究1 楽曲研究
12. ベッリーニ歌曲研究6 『Ma rendi pur contento』 フェルマータの表現研究2 実践
13. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～お互いの呼吸を感じて～
14. ピアノ伴奏同伴での試験曲のレッスン～試験をこころがけて～
15. 授業内実技試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
毎回の授業で課題をみつけ日々練習と研究をする

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
レッスンで学んだことや課題を持ち帰り、真摯に自分の技術や音楽表現のスキルアップをはかろう！ フィードバックは授業時に随時対応する。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
コンコーネ50番、パノフカ、ヴァツカイなどの声楽教則本 トスティ、ベッリーニ、ドナウディ、ドニゼッティ等の歌曲集 ＊学生の技量と進度に応じて

■評価方法(Evaluation method)
実技試験 70% 授業への取り組み 30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
授業時間前後やKmail等随時受け付ける